

人材養成に関する目的、教育研究上の目的

1. 博士課程（前期課程）

◆人材養成に関する目的

グローバル・スタディーズ研究科グローバル・スタディーズ専攻博士課程（前期）は、アメリカ研究、現代アジア研究、グローバル社会研究の3つのクラスターに分かれ、どのクラスターにおいても、高度な言語運用能力及びコミュニケーション能力を涵養するとともに、学際的、総合的アプローチを基礎に、研究課題を自ら発見し、論理的に議論を展開する能力等を身に付けさせ、国際機関、公共機関、国際ビジネスに携わる企業、報道機関等、異文化社会間の国際交流・理解の推進に貢献できる専門的人材を養成することを目的とする。

◆学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

（1）アメリカ研究クラスター

知識・技能：

アメリカが直面する地球規模の課題に対して、地域の特性に着目しつつ地域横断的に考え、学際的知見に基づいて理解できる。

思考力・判断力・表現力：

アメリカが直面する地球規模の課題をみずから発見し、他者との対話を通じてその公正な解決方法を学術的に探究できる。

主体性・多様性・協働性：

アメリカに生きる人々や文化の多様性を尊重し、課題の解決に向けて他者と協働できる。

（2）現代アジア研究クラスター

知識・技能：

現代アジアが直面する地球規模の課題に対して、地域の特性に着目しつつ地域横断的に考え、学際的知見に基づいて理解できる。

思考力・判断力・表現力：

現代アジアが直面する地球規模の課題をみずから発見し、他者との対話を通じてその公正な解決方法を学術的に探究できる。

主体性・多様性・協働性：

現代アジアに生きる人々や文化の多様性を尊重し、課題の解決に向けて他者と協働できる。

（3）グローバル社会研究クラスター

知識・技能：

グローバル社会が直面する地球規模の課題に対して、地域の特性に着目しつつ地域横断的に考え、学際的知見に基づいて理解できる。

思考力・判断力・表現力：

グローバル社会が直面する地球規模の課題をみずから発見し、他者との対話を通じてその公正な解決方法を学術的に探究できる。

主体性・多様性・協働性：

グローバル社会に生きる人々や文化の多様性を尊重し、課題の解決に向けて他者と協働できる。

◆教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

2018年度以降生

(1) アメリカ研究クラスター

＜カリキュラム総説＞

- ・ディプロマ・ポリシーに示した人材を養成するために、必修科目および選択科目によって構成されるカリキュラムを設置する。
- ・必修科目（14単位）では課題解決のための基礎知識・技能を、選択科目（16単位以上）では課題解決に必要な専門的知識・技能を習得することを目的とする。

＜学力の三要素／領域＞

- ・地球規模の課題を考究するための基礎知識・技能を習得することを目的として、3つのクラスター（アメリカ研究クラスター、現代アジア研究クラスター、グローバル社会研究クラスター）に共通の必修科目として「グローバル・スタディーズ入門」を設置する（知識・技能）。
- ・地球規模の課題を考究するための各イシューに関する基礎知識・技能を習得することを目的として、必修科目「理論と方法」（[エスニック/カルチュラル・スタディーズ]、[ジェンダー・市民社会・教育]、[歴史・文化・ポストコロニアル]、[国際経済・移住労働・多文化共生]、[国際開発・国際協力]の5つのクラスからなる）を設置する（知識・技能）。
- ・アメリカ社会が直面する地球規模の課題を考究するための専門的な知識・技能を習得することを目的として一連の選択科目を設置する（知識・技能）。
- ・アメリカ社会が直面する地球規模の課題を探究する基本的態度、および多様性、協働性を修養すると同時に、学術的見地から調査・研究を実践していくことを目的として、アメリカ研究クラスターの必修科目「アメリカ研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、および共通の必修科目「総合演習」を設置する（思考力・判断力・表現力／主体性・多様性・協働性）。

(2) 現代アジア研究クラスター

＜カリキュラム総説＞

- ・ディプロマ・ポリシーに示した人材を養成するために、必修科目および選択科目によって構成されるカリキュラムを設置する。
- ・必修科目（14単位）では課題解決のための基礎知識・技能を、選択科目（16単位以上）では課題解決に必要な専門的知識・技能を習得することを目的とする。

＜学力の三要素／領域＞

- ・地球規模の課題を考究するための基礎知識・技能を習得することを目的として、3つのクラスター（アメリカ研究クラスター、現代アジア研究クラスター、グローバル社会研究クラスター）に共通の必修科目として「グローバル・スタディーズ入門」を設置する（知識・技能）。

- ・地球規模の課題を考究するための各イシューに関する基礎知識・技能を習得することを目的として、必修科目「理論と方法」([エスニック/カルチュラル・スタディーズ],[ジェンダー・市民社会・教育],[歴史・文化・ポストコロニアル],[国際経済・移住労働・多文化共生],[国際開発・国際協力]の5つのクラスからなる)を設置する(知識・技能)。
- ・現代アジア社会が直面する地球規模の課題を考究するための専門的な知識・技能を習得することを目的として一連の選択科目を設置する(知識・技能)。
- ・現代アジア社会が直面する地球規模の課題を探究する基本的態度、および多様性、協働性を修養すると同時に、学術的見地から調査・研究を実践していくことを目的として、現代アジア研究クラスターの必修科目「現代アジア研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、および共通の必修科目「総合演習」を設置する(思考力・判断力・表現力/主体性・多様性・協働性)。

(3) グローバル社会研究クラスター

<カリキュラム総説>

- ・ディプロマ・ポリシーに示した人材を養成するために、必修科目および選択科目によって構成されるカリキュラムを設置する。
- ・必修科目(14単位)では課題解決のための基礎知識・技能を、選択科目(16単位以上)では課題解決に必要な専門的知識・技能を習得することを目的とする。

<学力の三要素/領域>

- ・地球規模の課題を考究するための基礎知識・技能を習得することを目的として、3つのクラスター(アメリカ研究クラスター、現代アジア研究クラスター、グローバル社会研究クラスター)に共通の必修科目として「グローバル・スタディーズ入門」を設置する(知識・技能)。
- ・地球規模の課題を考究するための各イシューに関する基礎知識・技能を習得することを目的として、必修科目「理論と方法」([エスニック/カルチュラル・スタディーズ],[ジェンダー・市民社会・教育],[歴史・文化・ポストコロニアル],[国際経済・移住労働・多文化共生],[国際開発・国際協力]の5つのクラスからなる)を設置する(知識・技能)。
- ・グローバル社会が直面する地球規模の課題を考究するための専門的な知識・技能を習得することを目的として一連の選択科目を設置する(知識・技能)。
- ・グローバル社会が直面する地球規模の課題を探究する基本的態度、および多様性、協働性を修養すると同時に、学術的見地から調査・研究を実践していくことを目的として、グローバル社会研究クラスターの必修科目「グローバル社会研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、および共通の必修科目「総合演習」を設置する(思考力・判断力・表現力/主体性・多様性・協働性)。

2017年度以前生

(1) アメリカ研究クラスター

＜カリキュラム総説＞

- ・ディプロマ・ポリシーに示した人材を養成するために、必修科目および選択必修科目、コア科目、選択科目Ⅰ～Ⅲによって構成されるカリキュラムを設置する。
- ・必修科目（2単位）および選択必修科目（4単位以上）、コア科目（10単位）では課題解決のための基礎知識・技能を、選択科目Ⅰ～Ⅲでは課題解決に必要な専門的知識・技能を習得することを目的とする。

＜学力の三要素／領域＞

- ・地球規模の課題を考究するための基礎知識・技能を習得することを目的として、3つのクラスター（アメリカ研究クラスター、現代アジア研究クラスター、グローバル社会研究クラスター）に共通の必修科目として「グローバル・スタディーズ研究入門」を設置する（知識・技能）。
- ・地球規模の課題を考究するための基礎知識・技能、および多角的な研究視座を習得することを目的として、選択必修科目「現代アメリカと世界」「現代アジアと世界」「グローバル社会の課題」「比較地域論」を設置し、その中から2科目以上を履修する（知識・技能）。
- ・アメリカ研究における基本的な理論と研究方法について習得することを目的として、コア科目（クラスター必修科目）に「アメリカ研究の理論と方法」「現代アメリカ社会論」を設置する（知識・技能）。
- ・アメリカ社会が直面する地球規模の課題を考究するための専門的な知識・技能を習得することを目的として、選択科目Ⅰ～Ⅲを設置し、選択科目Ⅰ・Ⅱからはそれぞれ4単位以上を履修する（知識・技能）。
- ・アメリカ社会が直面する地球規模の課題を探究する基本的態度、および多様性、協働性を修養すると同時に、学術の見地から調査・研究を実践していくことを目的として、コア科目（クラスター必修科目）に「アメリカ研究演習Ⅰ・Ⅱ」「アメリカ研究総合演習」を設置する（思考力・判断力・表現力／主体性・多様性・協働性）。

(2) 現代アジア研究クラスター

＜カリキュラム総説＞

- ・ディプロマ・ポリシーに示した人材を養成するために、必修科目および選択必修科目、コア科目、選択科目Ⅰ～Ⅲによって構成されるカリキュラムを設置する。
- ・必修科目（2単位）および選択必修科目（4単位以上）、コア科目（10単位）では課題解決のための基礎知識・技能を、選択科目Ⅰ～Ⅲでは課題解決に必要な専門的知識・技能を習得することを目的とする。

＜学力の三要素／領域＞

- ・地球規模の課題を考究するための基礎知識・技能を習得することを目的として、3つのクラスター（アメリカ研究クラスター、現代アジア研究クラスター、グローバル社会研究クラスター）に共通の必修科目として「グローバル・スタディーズ研究入門」（日本語と英語のクラスからなる）を設置する（知識・技能）。

- ・地球規模の課題を考究するための基礎知識・技能、および多角的な研究視座を習得することを目的として、選択必修科目「現代アメリカと世界」「現代アジアと世界」「グローバル社会の課題」「比較地域論」を設置し、その中から2科目以上を履修する（知識・技能）。
- ・アジア研究における基本的な理論と研究方法について習得することを目的として、コア科目（クラスター必修科目）に「現代アジア研究の理論と方法」を設置する（知識・技能）。
- ・アジア社会が直面する地球規模の課題を考究するための専門的な知識・技能を習得することを目的として、選択科目Ⅰ～Ⅲを設置し、選択科目Ⅰ・Ⅱからはそれぞれ4単位以上を履修する（知識・技能）。
- ・アジア社会が直面する地球規模の課題を探究する基本的態度、および多様性、協働性を修養すると同時に、学術的見地から調査・研究を実践していくことを目的として、コア科目（クラスター必修科目）に「現代アジア研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「現代アジア研究総合演習」を設置する（思考力・判断力・表現力／主体性・多様性・協働性）。

(3) グローバル社会研究クラスター

<カリキュラム総説>

- ・ディプロマ・ポリシーに示した人材を養成するために、必修科目および選択必修科目、コア科目、選択科目Ⅰ～Ⅲによって構成されるカリキュラムを設置する。
- ・必修科目（2単位）および選択必修科目（4単位以上）、コア科目（10単位）では課題解決のための基礎知識・技能を、選択科目Ⅰ～Ⅲでは課題解決に必要な専門的知識・技能を習得することを目的とする。

<学力の三要素／領域>

- ・地球規模の課題を考究するための基礎知識・技能を習得することを目的として、3つのクラスター（アメリカ研究クラスター、現代アジア研究クラスター、グローバル社会研究クラスター）に共通の必修科目として「グローバル・スタディーズ研究入門」（日本語と英語のクラスからなる）を設置する（知識・技能）。
- ・地球規模の課題を考究するための基礎知識・技能、および多角的な研究視座を習得することを目的として、選択必修科目「現代アメリカと世界」「現代アジアと世界」「グローバル社会の課題」「比較地域論」を設置し、その中から2科目以上を履修する（知識・技能）。
- ・グローバル社会研究における基本的な理論と研究方法について習得することを目的として、コア科目（クラスター必修科目）に「グローバル社会研究の理論と方法」を設置する（知識・技能）。
- ・グローバル社会が直面する地球規模の課題を考究するための専門的な知識・技能を習得することを目的として、選択科目Ⅰ～Ⅲを設置し、選択科目Ⅰ・Ⅱからはそれぞれ4単位以上を履修する（知識・技能）。
- ・グローバル社会が直面する地球規模の課題を探究する基本的態度、および多様性、協働性を修養すると同時に、学術的見地から調査・研究を実践していくことを目的として、コア科目（クラスター必修科目）に「グローバル社会研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「グローバル社会研究総合演習」を設置する（思考力・判断力・表現力／主体性・多様性・協働性）。

2. 博士課程（後期課程）

◆人材養成に関する目的

グローバル・スタディーズ研究科グローバル・スタディーズ専攻博士課程（後期）は、アメリカ研究、現代アジア研究、グローバル社会研究の3つのクラスターに分かれ、どのクラスターにおいても、世界の研究者などと国際共同研究プロジェクトを計画立案、推進、完遂できる十分な言語・コミュニケーション能力や、グローバルなスタンダードに見合った創造力を涵養し、研究機関、国際協力機関等で活躍できる研究者及び高度専門職業人を養成することを目的とする。

◆学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

（1）アメリカ研究クラスター

知識・技能：

アメリカが直面する地球規模の課題を、研究者または専門職業人として高度な学際的知見に基づいて理解できる。

思考力・判断力・表現力：

アメリカが直面する地球規模の課題をみずから発見し、研究者または専門職業人として独創的かつ高度な解決方法を学術的に探究できる。

主体性・多様性・協働性：

アメリカに生きる人々や文化の多様性を尊重し、研究者または専門職業人として共同で研究プロジェクトまたはプロジェクトを推進できる。

（2）現代アジア研究クラスター

知識・技能：

アジアが直面する地球規模の課題を、研究者または専門職業人として高度な学際的知見に基づいて理解できる。

思考力・判断力・表現力：

アジアが直面する地球規模の課題をみずから発見し、研究者または専門職業人として独創的かつ高度な解決方法を学術的に探究できる。

主体性・多様性・協働性：

アジアに生きる人々や文化の多様性を尊重し、研究者または専門職業人として共同で研究プロジェクトまたはプロジェクトを推進できる。

（3）グローバル社会研究クラスター

知識・技能：

グローバル社会が直面する地球規模の課題を、研究者または専門職業人として高度な学際的知見に基づいて理解できる。

思考力・判断力・表現力：

グローバル社会が直面する地球規模の課題をみずから発見し、研究者または専門職業人として独創的かつ高度な解決方法を学術的に探究できる。

主体性・多様性・協働性：

グローバル社会に生きる人々や文化の多様性を尊重し、研究者または専門職業人として共同で研究プロジェクトまたはプロジェクトを推進できる。

◆教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

2020年度生

（1）アメリカ研究クラスター

＜カリキュラム総説＞

- ・ディプロマ・ポリシーに示した人材を養成するために、「研究指導科目」および「コース指導科目」によって構成されるカリキュラムを設置する。
- ・「研究指導科目」は、指導教員の指示により1つ以上を登録し指導を受ける。また、「コース指導科目」は、指導教員が担当する演習Ⅰと演習Ⅱをそれぞれ6単位以上履修する。

＜学力の三要素／領域＞

- ・アメリカ社会が直面する地球規模の課題を考究するための高度な専門的知識・技能を習得することを目的として「研究指導科目」および「コース指導科目」を設置する（知識・技能）。
- ・アメリカ社会が直面する地球規模の課題を探求する基本的態度、および多様性、協働性を修養すると同時に、学術の見地から調査・研究を実践していくことを目的として、「研究指導科目」および「コース指導科目」を設置する（思考力・判断力・表現力／主体性・多様性・協働性）。

（2）現代アジア研究クラスター

＜カリキュラム総説＞

- ・ディプロマ・ポリシーに示した人材を養成するために、「研究指導科目」および「コース指導科目」によって構成されるカリキュラムを設置する。
- ・「研究指導科目」は、指導教員の指示により1つ以上を登録し指導を受ける。また、「コース指導科目」は、指導教員が担当する演習Ⅰと演習Ⅱをそれぞれ6単位以上履修する。

＜学力の三要素／領域＞

- ・現代アジア社会が直面する地球規模の課題を考究するための高度な専門的知識・技能を習得することを目的として「研究指導科目」および「コース指導科目」を設置する（知識・技能）。
- ・現代アジア社会が直面する地球規模の課題を探求する基本的態度、および多様性、協働性を修養すると同時に、学術の見地から調査・研究を実践していくことを目的として、「研究指導科目」および「コース指導科目」を設置する（思考力・判断力・表現力／主体性・多様性・協働性）。

（3）グローバル社会研究クラスター

＜カリキュラム総説＞

- ・ディプロマ・ポリシーに示した人材を養成するために、「研究指導科目」および「コース指導科目」によって構成されるカリキュラムを設置する。

- ・「研究指導科目」は、指導教員の指示により1つ以上を登録し指導を受ける。また、「コース指導科目」は、指導教員が担当する演習Ⅰと演習Ⅱをそれぞれ6単位以上履修する。

<学力の三要素／領域>

- ・グローバル社会が直面する地球規模の課題を考究するための高度な専門的知識・技能を習得することを目的として「研究指導科目」および「コース指導科目」を設置する（知識・技能）。
- ・グローバル社会が直面する地球規模の課題を探究する基本的態度、および多様性、協働性を修養すると同時に、学術的見地から調査・研究を実践していくことを目的として、「研究指導科目」および「コース指導科目」を設置する（思考力・判断力・表現力／主体性・多様性・協働性）。

2019年度以前生

(1) アメリカ研究クラスター

<カリキュラム総説>

- ・ディプロマ・ポリシーに示した人材を養成するために、「研究指導科目」および「特殊研究」によって構成されるカリキュラムを設置する。
- ・アメリカ研究クラスターにテーマ別に設置された「研究指導科目」では、1年次から3年次まで指導教員により一貫した研究指導が行なわれる。また、「特殊研究」では、先行研究の検証、研究手法の習得を含めた指導が行なわれ、短期サイクルで研究成果を報告・発表することが求められる。

<学力の三要素／領域>

- ・アメリカ社会が直面する地球規模の課題を考究するための高度な専門的知識・技能を習得することを目的として「研究指導科目」および「特殊研究」を設置する（知識・技能）。
- ・アメリカ社会が直面する地球規模の課題を探究する基本的態度、および多様性、協働性を修養すると同時に、学術的見地から調査・研究を実践していくことを目的として、「研究指導科目」および「特殊研究」を設置する（思考力・判断力・表現力／主体性・多様性・協働性）。

(2) 現代アジア研究クラスター

<カリキュラム総説>

- ・ディプロマ・ポリシーに示した人材を養成するために、「研究指導科目」および「特殊研究」によって構成されるカリキュラムを設置する。
- ・現代アジア研究クラスターにテーマ別に設置された「研究指導科目」では、1年次から3年次まで指導教員により一貫した研究指導が行なわれる。また、「特殊研究」では、先行研究の検証、研究手法の習得を含めた指導が行なわれ、短期サイクルで研究成果を報告・発表することが求められる。

<学力の三要素／領域>

- ・現代アジア社会が直面する地球規模の課題を考究するための高度な専門的知識・技能を習得することを目的として「研究指導科目」および「特殊研究」を設置する（知識・技能）。

- ・現代アジア社会が直面する地球規模の課題を探求する基本的態度、および多様性、協働性を修養すると同時に、学術的見地から調査・研究を実践していくことを目的として、「研究指導科目」および「特殊研究」を設置する（思考力・判断力・表現力／主体性・多様性・協働性）。

(3) グローバル社会研究クラスター

＜カリキュラム総説＞

- ・ディプロマ・ポリシーに示した人材を養成するために、「研究指導科目」および「特殊研究」によって構成されるカリキュラムを設置する。
- ・グローバル社会研究クラスターにテーマ別に設置された「研究指導科目」では、1年次から3年次まで指導教員により一貫した研究指導が行なわれる。また、「特殊研究」では、先行研究の検証、研究手法の習得を含めた指導が行なわれ、短期サイクルで研究成果を報告・発表することが求められる。

＜学力の三要素／領域＞

- ・グローバル社会が直面する地球規模の課題を考究するための高度な専門的知識・技能を習得することを目的として「研究指導科目」および「特殊研究」を設置する（知識・技能）。
- ・グローバル社会が直面する地球規模の課題を探求する基本的態度、および多様性、協働性を修養すると同時に、学術的見地から調査・研究を実践していくことを目的として、「研究指導科目」および「特殊研究」を設置する（思考力・判断力・表現力／主体性・多様性・協働性）。